自然の手

夏のすごく暑い日のことであった。私はスクランブル交差点の、赤信号で待っていると、白いの老人が少し離れた所に立っていた。信号が変わり音楽が流れ、一斉に人が、車が、動き出した。横を見ると、老人は人込みの中でうろたえている様子だ。するとにいた小学生の男の子二人が、老人の両側に立ち、手を引いて歩き出した。のことであった。それも自然に。老人は反対側に渡り、子供に何度も頭を下げていた。子供は笑顔で、何か話しかけて手を振り、また、元気よく何事もなかったように歩き出した。大人は一瞬することが、子供は自然に愛の手が出る。私は、この子供の行動がうらやましく感じた。まわりを気にして、手助けをすることを、ためらってしまう、私の心、そんなこと平気だよ。と教えてくれたような気がして何か、ホッとした、一時であった。

応募時（山梨県53歳）水上弘美